

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【公表番号】特表2010-505707(P2010-505707A)

【公表日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-008

【出願番号】特願2009-530958(P2009-530958)

【国際特許分類】

B 6 5 B 35/36 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 35/36

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月9日(2010.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

特には食料品、具体的にはプロセスチーズ、固形スープの素、バター、マーガリンなどのペースト状の食料品からなる製品の包装品（11）と一緒にグループ化する、特には適当な容器に箱詰めされるグループ（13）を形成する装置（10）であって、

グループ化領域（14）に包装品（11）を位置決めする手段（12）を備え、

グループ化領域に包装品を位置決めする手段は、包装品を拾う位置（A）と、包装品を解放するグループ領域（14）内の位置と、の間に動く包装品供給手段（12）を含むことを特徴とする装置（10）。

【請求項 2】

包装品を拾う後退位置（A）と、包装品を解放する前進位置（14）と、の間の直線経路に沿って動く包装品供給手段（12）を備えることを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項 3】

グループ化領域に包装品を供給する手段（12）は、装置が延在する長手方向ライン（L）に対して角度（C）をなす直線経路（T）に追従することを特徴とする請求項2に記載の装置。

【請求項 4】

所定のグループ化領域（14）内に複数の包装品（11, 11）を移動させる包装品供給手段（12）を備えることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の装置。

【請求項 5】

箱詰めされるグループ（13）の一部を形成する複数の包装品（11, 11）を移動させる包装品供給手段（12）を備えることを特徴とする請求項1～4のいずれかに記載の装置。

【請求項 6】

複数の包装品（11, 11）が隣り合わせにされ、それらの向かい合う側壁（11a, 11b）が互いに接するかほぼ接する状態で、それらの包装品を供給する包装品供給手段（12）を備えることを特徴とする請求項5に記載の装置。

【請求項 7】

第1および第2の包装品（11, 11）からなる複数の包装品（11, 11）を移動さ

せる包装品供給手段（１２）を備えることを特徴とする請求項５または６に記載の装置。

【請求項８】

複数の包装品（１１，１１）が隣り合わせにされ、それらの向かい合う側壁（１１ａ，１１ｂ）が、装置が延在する長手方向ライン（Ｌ）に対してある角度をなす方向に向けられた状態で、それらの包装品を供給する包装品供給手段（１２）を備えることを特徴とする請求項６または７に記載の装置。

【請求項９】

包装品供給手段（１２）は、包装品を押す手段であることを特徴とする請求項１～８のいずれかに記載の装置。

【請求項１０】

複数の包装品（１１，１１）を、横方向に離間している状態から、互いに引き寄せる整列手段（２６，２８）を備えることを特徴とする請求項１～９のいずれかに記載の装置。

【請求項１１】

整列手段（２６）は、複数の包装品（１１，１１）を互いに引き寄せ、向かい合う側壁（１１ａ，１１ｂ）が接するかほぼ接するように、それらの包装品（１１，１１）を隣り合わせるように設計されていることを特徴とする請求項１０に記載の装置。

【請求項１２】

包装品整列手段（２６，２８）は、グループ（１３）を箱詰めすることができるよう、供給手段（１２）が複数の包装品（１１，１１）を拾う位置（Ａ）に、グループ（１３）の一部を形成する複数の包装品（１１，１１）を互いに引き寄せるように設計されていることを特徴とする請求項１１に記載の装置。

【請求項１３】

包装品整列手段（２６，２８）は、包装品（１１，１１）を互いに向けて回転させることを特徴とする請求項１０～１２のいずれかに記載の装置。

【請求項１４】

包装品整列手段（２６，２８）は、装置が延在する長手方向ライン（Ｌ）に対して角度（Ｃ）をなす方向に、包装品（１１，１１）の向かい合う側壁（１１ａ，１１ｂ）が向けられるように、これらの包装品（１１，１１）を互いに向けて回転させることを特徴とする請求項１３に記載の装置。

【請求項１５】

グループ化領域に向かう供給ラインに沿った方向に、包装品の向かい合う壁（１１ａ，１１ｂ）を向けるように位置決めする手段（２６，２８）を備えることを特徴とする請求項１～１４のいずれかに記載の装置。

【請求項１６】

包装品整列手段（２６，２８）は、包装品を拾う後退位置（Ｂ）と、包装品を解放する前進位置（１１）と、の間に包装品を移動させるように設計されていることを特徴とする請求項１０～１５のいずれかに記載の装置。

【請求項１７】

グループ化領域（１４）からグループを送り出す手段（３０）をさらに備え、該手段（３０）は、グループを支持する円形プレート（３０'）を含み、この円形プレート（３０'）は、グループ化を行う高位置と、グループを送り出すことが可能となる低位置と、の間に垂直方向に動くことができることを特徴とする請求項１～１６のいずれかに記載の装置。

【請求項１８】

グループ化領域（１４）内で、包装品を横方向に収容する手段（４０）を備えることを特徴とする請求項１～１７のいずれかに記載の装置。

【請求項１９】

包装品を横方向に収容する手段は、向かい合う側壁（１１ａ，１１ｂ）が互いに接するかほぼ接するように隣り合わせられた複数の包装品（１１，１１）を挿入するのに十分な幅の開口部（４２）を有する要素（４０）の形状であることを特徴とする請求項１８に記

載の装置。

【請求項 20】

グループ化領域において包装品（11）を配置する手段（44）を備えることを特徴とする請求項 1～19のいずれか に記載の装置。